



学校教育目標

吹上小学校

- 心のあたかい子
- 考え実践する子
- 体も心もたかましい子



吹上中学校

- 自ら考え学ぶ生徒
- 心身ともにたかましい生徒
- 情操豊かな生徒



千塚小学校

- 美しさのわかるやさしい子ども
- よく考え勉強する子ども
- 健康でたかましい子ども



3校の目指す子ども像

— ふるさとに愛着と誇りをもつ子ども —

確かな学力 意欲的に学ぶ子ども	豊かな心 自他を認め合い思いやりのある子ども	健やかな体 心身ともにたかましい子ども
--------------------	---------------------------	------------------------

各発達段階で身に付けさせたい力 ～9年間を見通した指導～

区分	確かな学力			豊かな心			健やかな体			
	学習態度	学び合い	家庭学習	あいさつ	自己有用感	規範意識	生活習慣	運動習慣	心の安定	
中学校	中3	将来の夢に向かって、計画的に学習を進めることができる。	話し合い活動や発表を通して、個人や集団の考えを深めることができる。	家庭学習に目標をもち、計画的に取り組むことができる。	明るい学校・地域づくりを目指して場に合ったあいさつができる。	自分の役割を自覚し、学校や地域のために貢献することができる。	学校や社会のきまりを守り、礼儀正しく行動しようとすることができる。	健康な体を維持するため、バランスのよい食事と睡眠時間の確保を心がけて生活することができる。	積極的に運動を取り入れ、体力の増進を意識した生活を送ることができる。	自分に合ったメンタルヘルスを考え、学校生活を送ることができる。
	中2									
	中1	学習の仕方を工夫し、積極的に学習に取り組むことができる。	ペアやグループ活動を通して自分の考えを表現することができる。	家庭学習に自ら進んで取り組むことができる。	明るい学校づくりを目指して自ら進んであいさつができる。	友だちや家族のために、進んで役割を果たすことができる。	学校や社会のきまりを守り、節度ある行動をすることができる。	望ましい食習慣と規則正しい生活を送ることができる。	体育の授業や部活動に積極的に参加し、運動に親しむことができる。	他者とのつながりを大切にしながら、学校生活を送ることができる。
小学校	小6									
	小5									
	小4	きちんと相手を見て話を聞き、内容を理解することができる。	自分の考えと比べながら、話を聞くことができる。	家庭学習の習慣を身に付けることができる。	明るく元気なあいさつができる。	与えられた役割を果たすことができる。	学級や学校のきまりを守ることができる。	「早寝・早起き・朝ご飯」の生活リズムを守ることができる。	休み時間には元気に外遊びができる。	友だちと仲良く、学校生活を送ることができる。
	小3									
	小2									
小1										

本年度の取組

重点目標	① ICT活用や協働的学習を通して、意欲的に学ぶことができる児童生徒の育成	② 他者とのコミュニケーションを大切にし、積極的に学校生活を送ることのできる児童生徒の育成
取組内容 評価項目	◆ICT(デジタル教材含)を効果的に活用した授業改善を図り、児童生徒の学習意欲・学力向上につなげる。 ◆教え合い・学び合う協働的学習を効果的に実践し、児童生徒の学習意欲・学力の向上を図る。	◆学校生活を通して、児童生徒同士が認め合う場面を積極的に取り入れる。 ◆情報モラルを高めるための取組を通して、児童生徒が他を思いやり、楽しく学校生活を送れるようにする。
成果指標	【教員アンケート】 「ICT(デジタル教材含)を効果的に活用した授業改善を行い、児童生徒の学習意欲や学力向上につながった。」の設問について、肯定的な回答が80%以上になる。 【児童生徒アンケート】 「ICTを活用し、学習を最後まで頑張ることができた。」「ICTを活用し、考えを広げたり深めたりすることができた。」の設問について、肯定的な回答が80%以上になる。 【教員アンケート】 「単元毎に協働的学習の場面を設定し、児童生徒の学習意欲や学力向上につながった。」の設問について、肯定的な回答が80%以上になる。 【児童生徒アンケート】 「友達同士で教え合い学び合って、学習を最後まで頑張ることができた。」 「友達同士で教え合い学び合って、考えを広げたり深めたりすることができた。」の設問について、肯定的な回答が80%以上になる。	【教員アンケート】 「HRや学級活動、道徳等で友達のよい所を伝え合う活動を意図的に実践した。」の設問について、肯定的な回答が80%以上になる。 【児童生徒アンケート】 「友達よさや努力を互いに認め合っている。」の設問について、肯定的な回答をする児童・生徒の割合が80%以上になる。 【教員アンケート】 「情報モラルを高めるための取組を学校教育全体の中で意図的に実践できた。」の設問について、肯定的な回答が80%以上になる。 【児童生徒アンケート】 「情報モラルに関する正しい知識を理解し、楽しく学校生活を送ることができた。」の設問について、肯定的な回答が80%以上になる。